CONTENTS

●2021年度 FUJITSUファミリ会 春季大会 2

●講演録 特別講演 4
経済産業省・東京証券取引所「DX銘柄」選定委員長／一橋大学CFO教育研究センター長
伊藤 邦雄 氏

●講演録 記念講演 6
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 名誉教授
中谷 一郎 氏

●ICT基礎講座 8
テレワーク元年を振り返る
～見えてきたテレワーク失敗の方程式～

●トップは語る 12
株式会社ワイ・シー・シー
代表取締役社長　長坂 正彦 氏

●HUMAN HUMAN 14
株式会社感性リサーチ
代表取締役社長／感性アナリスト
黒川 伊保子 氏

●Family's Information 15

●支部見聞録（中国支部） From岡山 18

Family 2021 401号

表紙のことば（こどもとスポーツ）

動物とともに行う唯一のオリンピック競技で、男女同じ条件で実施される馬術。障害物を飛越する際のミスの少なさとタイムで競う「障害」、ステップなどの演技の正確さと美しさを採点する「馬場」、クロスカントリー走行を加えた「総合」の３種がある。手綱・脚・体重移動により馬へ細かい指示を出す選手の技術と馬のコンビネーションからなる迫力と美しさが見どころ。

2021年度 FUJITSUファミリ会 春季大会

春季大会として初のオンライン式典開催

2020年度の中止から1年ぶりとなる本年度の春季大会はコロナ感染対策により、初めてオンラインでの開催となりました。

冒頭の佐藤会長の挨拶では、コロナ禍でのファミリ会活動を振り返り『オンライン化など試行錯誤しながらも、映像配信数は158本、視聴者数は延べ8万名あまりとなり、集合開催だった2019年度以前の参加者数約3万名と比べ、2.5倍以上に増えた』と報告され、また今後の方針について以下のように語られました。

『各企業とも、在宅勤務が増えつつある中で、受講可能な従業員教育プログラムの実施といったお悩みに対し、ファミリ会が、解決できる場として機能するよう、プログラムの充実に努めてまいります。加えて、2021年度の活動方針を「ニューノーマル時代におけるファミリ会の新たな価値創造」と掲げ、新たな時代において、会員ニーズを的確に捉えながら、多くの皆様に支持される「ファミリ会の新たな価値」を創っていきたいと考えております。さらに、コロナ収束にしばらく時間を要する中で、企業が新たな価値を創りだし、企業競争力を高めていくために必要となるDX。DXを活用して「既存事業の変革」や、「新規事業の創出」を進めていくことが必要不可欠であると考えております。また、DX戦略の担い手である「デジタル人財の育成と確保」は各企業とも喫緊の課題となっていることから、ファミリ会ではデジタル思考を養うための活動に一層取り組んでまいります。まずは、既存の取り組みをさらに充実させ、日本の企業のDXを立ち上げから支援していくDXシステムのエコシステム的な場を提供し、会員の皆様の体験価値を高めていくファミリ会に成長・発展させていきたいと考えております』

続いて富士通株式会社の時田社長が挨拶。『昨年、社会における自らの存在意義であるパーパスを“イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと”とし、その実現のため、ビジネスを通じて社会課題の解決に取り組むべく、クロスインダストリーで重点的に注力する7つの分野を定めております』と報告。『一方で、お客様の今をしっかりとお支えすることも、重要な使命であると認識しております。お客様が安心して事業を行える、信頼性の高いICTをご提供するとともに、将来の持続的な成長につながる価値を、共に創出してまいります』と想いを述べました。

全国から多数の会員の皆様が視聴

こちらも初となる、オンライン（一部事前収録）によるファミリ会論文の入賞論文表彰に続いて、今聴いておきたい重要テーマで2つの講演が行われました。

〈講演録は本誌P4-5／P6-7に掲載〉

開会挨拶

FUJITSUファミリ会
2021年度会長
佐藤 智 氏

富士通挨拶

富士通株式会社
代表取締役社長
時田 隆仁 氏

特別講演

経済産業省・東京証券取引所「DX銘柄」選定委員長／一橋大学CFO教育研究センター長
伊藤 邦雄 氏

記念講演

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
名誉教授
中谷 一郎 氏

2021年度 活動方針

「ニューノーマル時代におけるファミリ会の新たな価値創造」

コロナ禍による厳しい状況下で、新たな価値を創出し、企業競争力をさらに高めていくためには、DXによる『既存事業の変革』と『新規事業の創出』を進めていくことが必要不可欠となっている。またDXにより企業変革を加速し、生産性や業務効率を向上させるために、テレワーク導入によるシームレスで最適な仕事環境の構築を図るなど、働き方改革への対応も一層求められている。

しかしその一方で、DXの活用から実現に至るまでのビジネスモデルを策定し、具現化できるデジタル人財の育成・確保は喫緊の課題であり、外部招聘と企業内教育を組み合わせるなど、長期的視点で取り組んでいくことが求められている。

2021年度のファミリ会では、ニューノーマル時代の会員ニーズを的確に把握し、会員各位のビジネスにお役立ていただける情報提供や交流の場を積極的に提供していく。そして未知な時代だからこそ、多くの会員がファミリ会に新たな価値を感じていただける斬新かつ高品質な活動を展開する。

ニューノーマル時代のビジネス変革とDX戦略に役立つ情報提供

－会員企業の経営や、ICT戦略に役立つDXをはじめとしたICT最新動向（IoT、AI、RPAなど）や企業の先進活用事例の提供
－ビジネス変革やイノベーション創出につながる継続研究活動の推進
－ビジネススキル、ICTスキルの習得機会の提供

デジタル化を志向する組織・個人を支援する取り組み

－企業活動のデジタル化の促進や、5Gの導入による高速ネットワーク化に対応したビジネス情報やICT活用事例の提供など、デジタル思考を養うためのセミナー・研修の開催
－デジタル人財の育成を支援する活動の推進
－女性活躍、ダイバーシティを積極的に支援する活動の推進
－個々の様々な能力が発揮でき、働き方改革につながる活動の推進

地域・環境の枠を超えた活動の展開と、地域の新たな魅力を生み出す活動の推進

－リアルとオンライン、各々の長所を活かし、ライブおよびオンデマンドによるセミナー・研修やサロン形式による交流会、e-Learning講座など、会員各位が地域や環境条件に捉われずに受講可能な機会の創出を図る
－全国同一、均質のサービスが享受できるよう、支部共通の課題と関心の高いテーマを意識した行事企画策定を図る
－部門（DX、ICT、営業、管理、生産など）や階層（役員／部課長、中堅若手層）からファミリー層に至るまで、参加者の立場や職務に合わせた活動の推進
－オンライン会議ツールやSNSを活用し、会員への訴求効果が高い広報活動を図る

災害復興支援活動の継続

－災害復興支援は 社会貢献の観点で継続的に取り組み、風化させないよう努める

LS研究委員会と各支部との一層の連携強化

－LS研究委員会と各支部とのシナジー効果を創出する活動の推進